

# 八戸「で」演劇をやること

文／柏井容子（おとなエンゲキヴ代表／演劇ユニット「演劇系、女子。」）

趣味は何ですか？と聞かれたら、私は旅と答える。この2年はコロナのせいで行っていないけれど、一昨年の夏休みには、尻屋崎灯台と下風呂温泉、そして大間へ行ってきた。その年の8月にスペースベンで超短編劇を上演する「短々面」という企画に参加し、そこで「寒立馬」という7分ほどの作品を上演した。この作品をきっかけに本物の寒立馬を見に行こうと思い、旅先として下北半島を選んだ。この作品に出会わなければ、寒立馬を見て下風呂温泉に入り、大間でマグロ食べるなんて、たぶんしなかったと思う。演劇が私を旅に連れ出してくれた。

旅とは少し違うが、転勤で3年ほど東京に住んだ。ホームシックにもならず、とても楽しく過ごしていたけれど、いづれどこか旅行中の感覚だった。大きな変化は、私にとって「やる」ものだった演劇は、いつの間にか「観る」ものになっていったということ。今は八戸に住み、日常生活を送りながら、演劇をしている。ちゃんと本業があって、演劇は生活の中の余白部分を豊かにするためにやる。東京にいたときは、余白部分が演劇以外のことで埋まっていたのだと、八戸に戻って気が付いた。東京は五感を刺激するものが、本当に多い。

八戸で演劇をやり続けることは結構難しい。はちのへ演劇祭をきっかけに八戸市内にいくつか劇団やユニットは誕生したが、コンスタントに公演を打っているところもあれば、そうでもないところもある。ほとんどが社会人だから、ライフスタイルの変化や職業人としての立場の変化など、特に20代後半から30代の人たちは事情が様々だ。だからこそ、八戸で



主役2人と演出による猛特訓？

演劇をやり続けている榎谷伸夫先生は、ある意味超人だ。

そんな超人のおかげで出会えた人たちと、今度私は演劇公演を打つ。コロナのせいで卒業公演ができなかった高坂大誠と、大学院受験のためしばらく八戸を離れる木村壘生。3年前に八戸市公民館文化ホールあの舞台で、刃に倒れた若武者を演じたこの2人が、とにかく活躍する演劇をと言ったら、橋本佳織があつという間に「イカロス・イン・ザ・ルーム」を書き上げた。彼女の才能に出会えたことも、超人に感謝せねばなるまい。

今回上演する作品は、ある英語のイデオロムから着想を得て生まれた物語である。憧れの先輩と一緒の舞台上に立ちたい、男子高校生。その少年の背中を押すのは、突如部屋に現れたギリシャ神話のイカロス。空を飛ぶことを諦めないイカロスの存在により、少年が徐々に踏み出していく。閉塞的な空気が世の中に流れ、何を準備しても、何を頑張っても、一瞬で無に帰すことが珍しくなくなってしまう昨今。やらない理由、できない理由を見つけていることが当たり前になっていないか？

下手でも続けること。続けていたから出会えた人。八戸に住んで演劇をやり続けることは難しいかもしれないけれど、できないことはない。稽古では、そのことを再認識する日々である。

## ●筆者近況

2022年元旦、なかなか予約の取れない宿に一泊してきました。おいしいごはんを食べ、雪がつもった露天風呂に入り、風呂上がりには大好きなクラフトビールを飲み、ほくほく気分でお布団に入る。最高の2022年のスタートを切りました。今年も頑張ります。

## 三陸国際芸術祭シアタープロジェクト八戸

12:30～オープニングパフォーマンス絞神楽、13:00～シンポジウム1「芸能が生まれる地～郷土芸能とアーティストの出会いから～」、15:00～シンポジウム2「三陸国際芸術祭と創造的な復興について～これまでの10年とこれからの10年を考える～」【日時】3月13日(日) 12:30～16:30【場所】八戸ポータルミュージアム はっち【料金】無料(定員各50名、シアター2でのシンポジウムは予約優先)【問合せ】imajimu 今川 ☎090-5781-5319



## おとなエンゲキヴ旗上公演

### 「イカロス・イン・ザ・ルーム～ある部屋のおはなし～」

八戸市公民館特別企画演劇公演「約定の城」(作:榎谷伸夫/演出:三浦哲郎)出演者有志による、おとなだけ演劇部みたくに演劇したい者たちの集まり「おとなエンゲキヴ」による旗上公演。10代から50代まで、家族のような年齢構成だが、ココロは永遠の17歳。【日時】3月11日(金)開演19:00、3月13日(日)開演14:00、3月18日(金)開演19:00、3月20日(日)開演14:00、3月25日(金)開演19:00、3月27日(日)開演14:00【場所】スペースベン【料金】一般前売600円、大学生以下前売300円(当日各100円増)【問合せ】スペースベン 田中 ☎080-6025-0990



## 演劇空間 スペースベン

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 全曜日は19時30分～、料金は一般前売500円 大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増し)  
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい  
八戸市柏崎1-11-8 TEL:080-6025-0990 FAX:050-3588-8350  
E-MAIL:owner@spaceben.com URL:https://spaceben.com/



## FANS FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP

FANS予定▶第1465～1468回  
◎3月4日 翌週準備 ◎3月11日・18日・25日 おとなエンゲキヴ旗上公演「イカロス・イン・ザ・ルーム～ある部屋のおはなし～」  
※特別料金:一般前売600円、大学生以下前売300円(当日各100円増)

WHAT'S "FANS"? 多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)